

事案名	岩沼市の事案（宮城県 平成16年度新規事案）
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「兵器現況表」〔1〕</li> <li>・「飛行場要図綴 其ノ二」〔2〕</li> <li>・「旧軍毒ガス弾等に係る資料について（報告）」〔3〕</li> <li>・『岩沼市史』〔4〕</li> </ul>
資料内容概要	<p>宮城県岩沼市に存在した仙台陸軍飛行学校には、終戦時における毒ガス弾等の保有に係る情報がある。</p> <p>生産・保有情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和20年8月、仙台陸軍飛行学校（本校）には、89式催涙筒甲65本・89式催涙棒13函・98式小あか筒56本が存在していた〔1〕。</li> </ul> <p>その他情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仙台陸軍飛行学校近くの飛行場は、昭和14年熊谷陸軍飛行学校増田分教場の名称で発足したと記載されている〔4〕。</li> <li>・仙台陸軍飛行学校には「瓦斯講堂」が存在し、仙台航空教育隊には「特殊弾格納庫」が存在していた〔2〕。「瓦斯講堂」が存在した地域は、戦後、農地として利用されてきたが、昭和40年代初めに河川が整備された。また、昭和52年には該当地付近の周辺地域について、民間により事業所用地として造成整備が行われ、事業所が立地し現在に至っている。なお、その周辺も民間等により事業所用地として造成整備が行われ、事業所が立地し現在に至っている〔3〕。また、「特殊弾格納庫」が存在した地域は、戦後農地等として利用されてきたが、当該地を含む西側は、昭和45年の都市計画決定（市街化区域 - 住宅地域）を受け主に住宅地として整備が進んできた。また、東側は昭和55年以降民間による造成により事業所用地が整備され、事業所が立地し現在に至っている〔3〕。</li> </ul>